

「本で、もっと、世界にいいこと。」 Chabo!スタートします。



ベストセラー著者・出版社・NGO 連携による世界の難民・被災民の教育支援、自立支援プログラム”Chabo!” (チャリティ・ブック・プログラム)開始のお知らせ

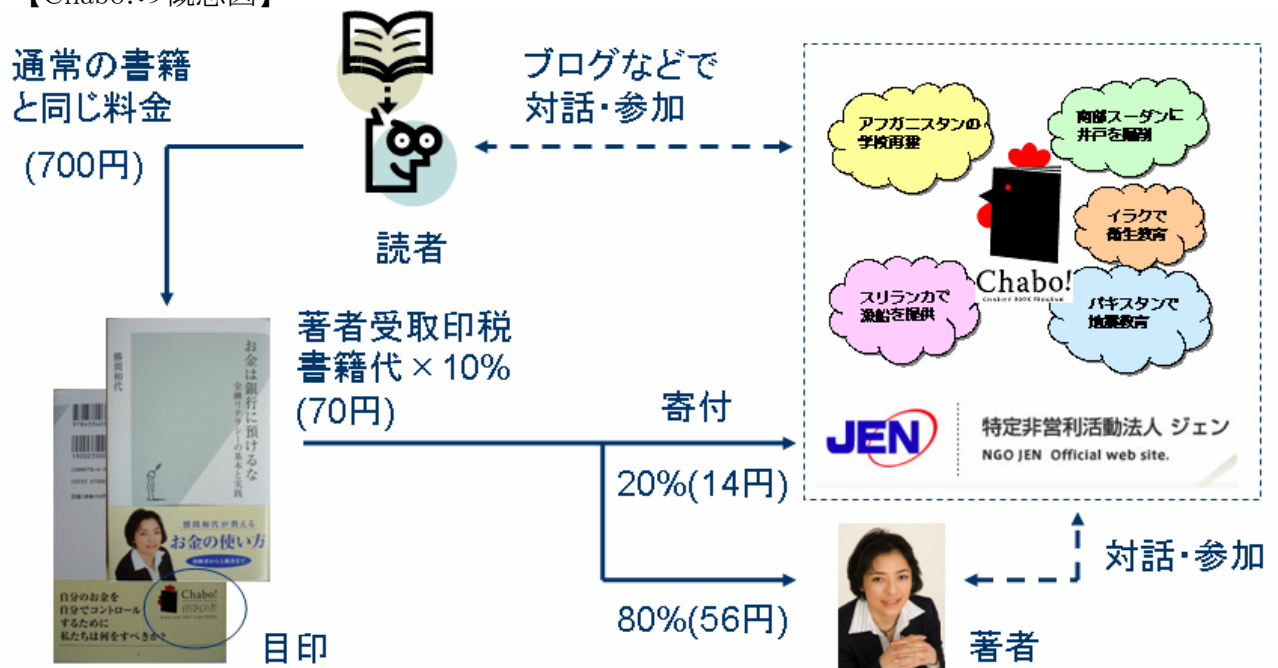
1. Chabo! の概要

(<http://www.jen-npo.org/chabo>)

Chabo!は、Charity Book Program (チャリティ・ブック・プログラム) のこと。心ある作家たちの好意により実現した印税寄付プログラムです。

Chabo!に登録されている本が売れると、その本の著者の印税の20%が、特定非営利活動法人JENを通じて、世界中の難民・被災民の教育支援、自立支援に使われます。

【Chabo!の概念図】



2. Chabo!のミッション・ステートメント

- Chabo!は、本やセミナーなどの教育事業からの売上げの一部を寄付することで、世界の難民・被災地域への教育・自立支援を行います。
- 支援地域と支援活動従事者、寄付をしている著者、読者一人ひとりがお互いに学び合い、育つことを目指します。
- 寄付を通じて、世界の広さやその可能性、命の尊さ、教育・自立支援の大切さを実感することで、寄付者の世界を広げるとともに、日本に市民社会を根づかせ、活性化させることに貢献します。

3. Chabo!に参加する方法

読者の方は、Chabo!マークのついた本をご購入いただくだけで、即参加できます。新しい国際協力の形です。現在、書店に出回っているのは数冊ですが、今後、どんどん増えていく予定です。

著者・出版社の方は、書籍の内容や営利目的でないことなどの基準を満たしていることについて、Chabo!推進委員会の審査をへて、参加が決まります。

4. 特定非営利活動法人 JEN の概要及び活動について

(<http://www.jen-npo.org/>)

特定非営利活動法人ジェン（J E N）は、1994年に設立された日本の国際支援団体です。J E Nは紛争や災害で厳しい生活を強いられた人々が、生活を再建する努力を後押しし、彼らの自助自立を支援します。

J E Nは、旧ユーゴスラビア各国での難民・被災民支援から始まり、過去14年間に16カ国で130万人を超える人々を支援してきました。現在は、アフガニスタン、イラク、パキスタン、スリランカ、南部スーダン、新潟で支援活動を実施しています。

世界中で起こる紛争や災害は、残念ながら留まるところを知りません。ですから支援も、充足することはないのです。足りないからこそ、本当に必要としている人々に、最小限の支援を提供することが大切です。J E Nは『与える支援ではなく、支える支援』をモットーに、本当の意味での人々の自立を目指します。

5. Chabo!に参加している著者一覧(2008年5月現在、参加表明順)

勝間和代　かつま　かずよ (Chabo!発案者)

東京都生まれ。経済評論家(兼公認会計士)。

早稲田大学ファイナンスMBA、慶應義塾大学商学部卒業。当時最年少の19歳で会計士補の資格を取得した後、アーサーアンダーセン(公認会計士)、マッキンゼー(戦略コンサルタント)、JPモルガン(ディーラー・証券アナリスト)を経て、独立。会計・ファイナンス及び少子化・ワークライフバランス問題に特に強みを持つ。2005年、ウォール・ストリート・ジャーナル

「世界の注目したい 50 人の女性」に選出されたほか、2006 年、エイボン女性大賞を最年少で受賞。著書「お金は銀行に預けるな」(光文社)など。

ブログ: 私的なことがらを記録しよう!! <http://kazuyomugi.cocolog-nifty.com/>

酒井穰 さかい じょう

1972年生まれ。慶應義塾大学理工学部卒、オランダ Tilburg 大学MBA。

商社にて新規事業開発、台湾向け精密機械の輸出営業などに従事。

オランダの精密機械メーカーに転職し、オランダに移住。

技術マーケティングや特許管理を担当する。

2006年にウェブ・アプリ開発の J3 Trust B.V.を設立し、CFO就任。

著書「はじめての課長の教科書」(ディスカヴァー)など。

<http://nedwlt.exblog.jp/>

和田裕美 わだ ひろみ

京都生まれ。外資系教育会社日本ブリタニカでのフルコミッション営業時代、プレゼン

したお客様の 95%から契約をいただく圧倒的な営業力で日本でトップ、世界 142ヶ国中 2

位の成績を収め、その後続く女性営業たちに道を拓いた。「売る」というより「お客

様の背中を押す」ことを意識した営業スタイルで、顧客満足度はきわめて高く、トップ

セールス時代の売上の 4 割は紹介・リピートで占められていた。短期間に昇進を重ね、

史上最年少・女性初の代理店支社長となる。その後代理店制度廃止に伴い支社は畳まざる

を得なくなるが、ついてきてくださったお客様に最後まで誠実に対応しようとブリタニ

カ本社に残る。企画室長、マーケティング部長を経て営業部長となり、全国 100 名の営

業組織を統括する。

2001年、ブリタニカ日本撤退に伴い独立し、株式会社ペリエを設立。

現在は営業コンサルタントとして多業種での営業組織作りに携わる。

著書『世界 No.2 セールスウーマンの「売れる営業」に変わる本』(ダイヤモンド社)など

<http://www.perie-net.co.jp/index.html>

小宮一慶 こみや かずよし

大阪府生まれ。京都大学法学部卒業。

(株)東京銀行入行、米国ダートマス大学エイモスタック経営大学院卒業(MBA)。東京

銀行システム部部長代理(経営情報システム担当)、財務開発部部長代理(M&A担当)、

(株)岡本アソシエイツ取締役、日本福祉サービス(株)企画部長を経て小宮コンサルタ

ンツ代表取締役、明治大学会計大学院特任教授。この間、93年にUNTAC

(国連カンボジア暫定統治機構)選挙監視員として、総選挙を監視。

フィールドでの実践をもとに、企業規模、業種を問わず、幅広く経営コンサルティング

活動を行う一方、年百回以上の講演を行う。新聞・雑誌、テレビ等の執筆・出演も数多

くこなす。特種情報処理技術者。日本証券アナリスト協会検定会員。

著書「ビジネスマンのための「発見力」養成講座」(ディスカヴァー)など。

<http://www.komcon.co.jp/>

竹川美奈子 たけかわ みなこ

ファイナンシャル・ジャーナリスト。

群馬県生まれ、埼玉県育ち。明治大学政治経済学部政治学科卒。日経事業出版社（現・日経HR）や日本経済新聞社編集局などを経て独立。1999年ファイナンシャル・プランナー資格を取得。書籍やマネー関連の雑誌、新聞などで幅広く取材・執筆活動を展開する一方、投資信託や確定拠出年金セミナーの講師などを務める。個人投資家の立場から金融商品・サービスの研究・分析を行うとともに、自らも投信積み立てや401Kなどを実践中。

著書に『投資信託にだまされるな！ 本当に正しい投信の使い方』『投資信託にだまされるな！ Q&A 投信の疑問・解決編』（ともにダイヤモンド社）などがある。

<http://www.m-takekawa.jp/>

6. Chabo!への対応書籍一覧(2008年5月現在)

【既刊】

- ・『お金は銀行に預けるな』 勝間和代/著（光文社）
- ・『勝間和代のインディペンデントな生き方実践ガイド』
勝間和代/著（ディスカヴァー）
- ・『無理なく続けられる年収10倍アップ勉強法』
勝間和代/著（ディスカヴァー）
- ・『無理なく続けられる年収10倍アップ時間投資法』
勝間和代/著（ディスカヴァー）
- ・『決算書の暗号を解け!』
勝間和代/著（ランダムハウス講談社）
- ・『効率が10倍アップする新・知的生産術』
勝間和代/著（ダイヤモンド社）
- ・『勝間式「利益の方程式」』
勝間和代/著（東洋経済新報社）
- ・『はじめての課長の教科書』
酒井穰/著（ディスカヴァー）
- ・『投資信託にだまされるな!』
竹川美奈子(ダイヤモンド社)
- ・『投資信託にだまされるな! Q&A』
竹川美奈子(ダイヤモンド社)

【新刊】

- ・『人づきあいのレッスン 自分と相手を受け入れる方法』
和田裕美/著（ダイヤモンド社）6月の新刊
- ・『ビジネスマンのための「解決力」養成講座』
小宮一慶/著（ディスカヴァー）6月の新刊
- ・『息を吸って吐くように目標達成する52の約束（仮）』
和田裕美/著（ポプラ社）7月の新刊



- ・ (タイトル未定) 勝間和代/著 (ディスカヴァー) 6月の新刊

7. Chabo!に参加している出版社(2008年5月現在、参加表明順)

- ・ ディスカヴァー・トゥエンティワン社
- ・ 光文社
- ・ ランダムハウス講談社
- ・ ダイヤモンド社
- ・ 東洋経済新報社
- ・ ポプラ社

8. Chabo!展開にご協力いただける書店(2008年5月現在)

下記書店で特別フェアを開催します。その他の書店でも、Chabo!帯のある書籍を買っていただけることで、Chabo!への寄付となります。フェアの書店も順次増えていく予定です。

- ・ 有隣堂横浜駅東口ルミネ店(6月予定)
- ・ 銀座教文館(6月予定)

9. Chabo!デザインへの無償協力

Chabo!の名称、ロゴマーク、デザイン及びウェブ展開について、博報堂と株式会社デデの制作チームの方々の無償協力を得ております。

(敬称略)

- ・ 長島 慎 (株式会社博報堂)
- ・ 井口雄大 (株式会社博報堂)
- ・ 森田理奈 (株式会社博報堂)
- ・ 中村邦之 (株式会社デデ)
- ・ 東 和博 (株式会社デデ)

10. FAQ!

Q1) 寄付の分は、本の価格に上乗せされているんですか？

A1) そのようなことはありません。

Chabo!への寄付は、純粋に著者のご厚意だけで成り立っています。
読者のみなさんは、「普段通り本を買う』だけで参加していただけます。

Q2) 寄付金が具体的にどのように使われるのか、もう少し詳しく知りたいのですが。

A2) 原則として、JENの活動に沿ったものになります。

具体的な使い道については、その都度、世界情勢を鑑みながら、慎重に協議の上で決定させていただきます。

寄付金は間接費にも使われます。但し間接費は寄付総額の20%を上限とします。
そのご報告は、随時 Chablog!(Chabo!のブログ)にて行わせていただきます。

Q3) 近所の本屋に、Chabo!マークのついた本が売ってません…。

A3) 現在、登録されている本をウェブで紹介させていただいております。
書店にてお取り寄せいただければ幸いです。また、それぞれリンクを貼らせて
いただいておりますので、インターネットでのご購入も可能です。また、
協力書店で Chabo!のフェアも開く予定ですので、そちらもご活用ください。

Q4) 私は作家ですが、このHPを見て、このプログラムに大変感銘を受けました。

ぜひ参加させていただきたいのですが、どうすればいいのでしょうか？

A4) ありがとうございます。そういつていただけるとうれしいです。

お手数ですが、下記問い合わせ先までご連絡いただけますでしょうか。
宜しくお願いします。

Q5) 私は作家ですが、特定の出版社から本を出さないと、
このプログラムには参加できないのでしょうか？

A5) 出版社の制限は設けておりません。出版物ごとの契約となります。
参加をご希望される場合は、お手数ですが、下記お問い合わせ先までご連絡ください。
必要とあれば出版社さまへのご説明にも伺います。

Q6) 私は編集者ですが、既に発行された本でも、新たに Chabo!として登録できるの
でしょうか？

A6) ありがとうございます。もちろん可能です。
お手数ですが、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

Q7) Chabo!の選定図書については委員会での審査があるということですが、これは
どのようなプロセスで行われるのですか？

A7) Chabo!に参加したいというお申し出があった場合、まずその該当書籍を拝見して、プロ
ジェクトにふさわしい内容かということを検討致します。検討の手順は委員長が検討会
を招集し、委員会が委嘱した複数の検討者からの意見を総合して決定します。(「委嘱
した複数の検討者」とは、その書籍の内容に詳しい人、全く予備知識のない人の両方
を含むグループです)

Q8) 今回の寄付先はなぜ JEN なのですか？

A8) 立ち上がりの当初は規模が小さいため、プロジェクトをいっしょに育ててくれる団体が必
要です。また、著者にとって、用途が明確であり、透明性が高いという条件も必要です。そ
の両者の観点において、当プロジェクトの立ち上げへの全面協力をコミットしてくれたこと、
これまでの長年の実績があり、かつ、BOOK MAGIC というサービスで書籍を活用した寄
付プログラムをすでに立ち上げていたこと、現地事務所をもっていて使途について厳しく

監視していることなどさまざまな要件をクリアしていたためです。なお、2014 年度をめぐり、JEN から独立できるだけの規模になることも同時に目指しています。

Q9)なぜ、著者のみなさんはこのプログラムに参加しているのですか？ 始めたきっかけや、参加の動機を教えてください。

A9)基本はやはり個人としてどのような社会貢献ができるかということが動機です。特に今回の Chabo!に参加している著者の方々は、もともと社会貢献に意欲が強いベストセラー作家の方ばかりで、一人の力では決してベストセラーは生まれないと言うことをよく理解しています。そのため、著者だけでなく、編集者の方、営業の方、取次の方、書店の方々とより理解を深め、社会貢献をグループで参加をすることで出版の意義をより高めていくことを願っています。さらに、参加のほとんどの著者の方はこれまでも個人的な寄付をしてきましたが、今回はさらに JEN が加わることにより、資金用途がより明確になり、透明性が高まったことも評価しています。

10. 本リリースの問い合わせ先

その他、不明な点は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

Chabo!推進委員会

- 委員長 福沢恵子(ジャーナリスト、日本女子大学客員教授)
- 委員 勝間和代(経済評論家、公認会計士)
- 委員 木山啓子(NPO 法人 JEN 理事・事務局長)
- 委員 干場弓子(ディスカヴァー・トゥエンティワン取締役社長)

Chabo!推進委員会事務局

水野充代

mizuno@office.nifty.jp

03-5941-7950(株式会社「監査と分析」気付)

私も著者として Chabo! に参加し、できる限りその活動を支えて行きます。

1. ごあいさつ

私の5歳になる娘が最も気に入っている曲は、ご存知マイケル・ジャクソンの『Man in the mirror』です。娘はこの曲のショート・フィルム（世界の貧困と暴力を映したもの）を観てショックを受け「学校の皆も、これを観ないといけないねえ」と主張しています。

私自身も、高校生のころにこの曲の歌詞のすばらしさ、メロディー・ラインとコーラスの美しさに惹かれたことをよく覚えています。ショート・フィルムにも、娘と同様にショックを受けました。この曲の歌詞を要約すれば、以下のようになるでしょうか。

「家はもちろん、食べるものすら無い子供たちがいる。世界には、たくさん問題がある。自分はそうした現実を知りながら、これまで知らないふりをしてきた。でも、今こそそんな現実を変えるのだ。まずは鏡の中にいる自分自身を変えることから始めよう。」

“I’m starting with the man in the mirror. I’m asking him to change his ways.”

今の私は、この曲を聴いていた高校生だったころの自分の理想からすれば、いつも酒ばかり飲んでいて、ずいぶんと恥ずかしい大人になってしまったと感じます。しかし私は、今でもこの曲を聴いてもっとがんばりたいと思うし、そしてこの曲のすばらしさを娘と共有することができたことを、とても嬉しく思うのです。

私はこれまで、多くの方々に甘え、一方的に支えられて生きてきました。これからは、ほんの少しですが、そんな自分自身のありかたを変えて行こうと思います。

2. 具体的な活動について

拙著『はじめての課長の教科書』（ディスカヴァー）の2008年5月の売り上げ分より、著者印税の20%をChabo!基金に寄付して行きます。帯にChabo!の公式マークが入るのは本書の第7刷からとなりますが、帯に公式マークが入っていない本の売り上げも、この対象とします。

基本的に、現在執筆中のものも含め、私の今後の日本国内での著作は全てChabo!対応とし、その著者印税の20%を寄付して行く予定です。また、Chabo!主催のイベントなどにも積極的に参加して行き、活動を盛り上げて行きたいと考えています。

酒井 穰 (さかい・じょう)

1972年、東京生まれ。慶應義塾大学理工学部卒、オランダ Tilburg 大学 TiasNimbas ビジネススクール経営学修士号 (MBA) 首席 (the Best Student Award) 取得。商社にて新事業開発、台湾向け精密機械の輸出営業などに従事。後、ヘッドハンター経由でオランダの精密機械メーカーに転職し、オランダに移住する。主に知的財産権本部に所属し、技術マーケティングや特許ポートフォリオの管理を担当する。オランダの柔軟な労働環境を活用して、現在も知的財産権本部での仕事に精力的に取り組みつつも、2006年末に各種ウェブ・アプリケーションを開発するベンチャー企業である J3 Trust B.V. を創業し、最高財務責任者 (CFO) としての活動を開始する。母校の TiasNimbas ビジネススクールにて、MBA コースの臨時講義も担当している。オランダでの生活、経営や育児、語学やグルメなどの幅広い話題をカバーするブログ、NED-WLT (<http://nedwlt.exblog.jp/>) の管理人。『はじめての課長の教科書』（ディスカヴァー）の著者。

—私にもできること—

「Chabo!」ではじまる思いやりの縁が
どんどん広がることを心から願います

1 【ごあいさつ】

私は贅沢な日本人です。

好きなものを食べて、好きな本を読んで

ときに仕事のプレッシャーを抱えて幸せに生きています。

こんな私は年に数回テレビなどで彼らの貧困を目にして心を痛めました。

そしてそんなとき寄付をしました。

けれどそれらは通り過ぎると、忙しい日常の中では毎日意識できません。

どこかの国でたくさんの子供たちが学ぶことにも、食べることに飢えていることを

知っていながら、自分が食べて生きていることを当たり前のように感じ

感謝さえ忘れてしまうのでした。

そんな私ですが今回 Chabo! に参加させていただくことで

「私にもできること」がやっと見つかりました。

「私は本を読んでもらえるという嬉しさ」と

「子供たちの未来を創れるお手伝いができるという嬉しさ」を

一度に両方いただける機会をもらったのです！

本を書くことという私の日常の中に Chabo! を通して豊かな気持ちが流れていきます。

この「豊かな気持ち」が「思いやりの縁」となって

本を読んでくださった一人一人の意識の中に流れていけば、

どんどん何かが変わるような気がします。

2 【今後の Chabo! 活動】

- **【人づきあいのレッスン 自分と相手を受け入れる方法】** 6月中旬発売
(ダイヤモンド社) 印税の20%を Chabo! 基金に寄付 (帯に Chabo! の公式マーク入り)
- **【息を吸って吐くように目標達成する52の約束(仮)】** 7月発売予定
(ポプラ社) 印税の20%を Chabo! 基金に寄付 (帯に Chabo! の公式マーク入り)

和田裕美 (わだ ひろみ)

外資系教育企業におけるフルミッション営業でプレゼンしたお客様の95%から契約をいただく圧倒的な営業力で日本でもトップ、世界142カ国中第2位となる。

「売る」ことは強引なことではなく「相手の背中を押す」こと、とした営業スタイルで顧客満足度はきわめて高くファンをつくる営業を確立させる。その後、最年少・女性初の支社長となる。その後、代理店制度の廃止にともない、支社を畳み正社員となる。企画室長、マーケティングマネージャーを経て営業部長となり100名の部下指導を担当する。

同社、日本撤退後、独立。株式会社ペリエを設立。多業種での営業組織作りに携わる。執筆活動においては、2003年の『世界NO. 2セールスウーマンの「売れる営業」に変わる本』は売れないと言われた女性ビジネス書の火付け役となり、「帯に顔写真」ブームを作ったといわれる。著書は他に『人に好かれる話し方』など(累計100万部突破)。

一本の力で読者のみなさんといっしょに学んでいきたい—
本の印税を天引きで寄付できないか、そんな素朴なアイデアから
はじまって、多くの方の協力でここまで来ることができました

1. ごあいさつ

私は本が大好きです。日本に生まれて、豊富に本がある状況で育ち、たくさんの本を読むことができました。ところが、世界には本を読むことはもとより、基本的な教育も受けられない子どもたちがまだまだ、たくさんいます。

そんな子どもたちをもっともっと応援したい、しかし、自分でできることには限界がある中、どうやって行おうかと悩んでいたときに、BOOK MAGIC というプログラムで古本の収益を支援活動に費やしている JEN との連携、それをしかも出版社から直接送金できないか、というアイデアが浮かびました。

そして、このアイデアを周囲の信頼できる著者・出版社の方にお話ししたところ、賛同者がどんどん集まっていたでいて、本日の発表になりました。Chabo!のプログラムを通じて、いろいろと学ばせていただいています。

2 今後の Chabo!活動

拙著については出版社を問わず、4月15日以降の増刷、新刊とも、すべて Chabo!対応としていき、印税の20%を Chabo!に寄付をしていきます。また、市中流通分についても、可能な限り、順次、Chabo!入りに帯を巻き替えていく予定です。書籍に加え、講演会、セミナーなどについても、売上の一部を Chabo!に寄付をしていく所存です。

Chabo!の支援先であるアフガニスタン、スーダン、スリランカなどの地域にも積極的に訪問し、著者として何ができるか思案していく予定です。活動については、Chabo!のブログを通じて報告していきます。

さらに、書店などの展開を通じて、読者の方にももっと、寄付や支援について興味を持っていただけるよう、活動していきたいと思えます。

勝間和代 (かつま かずよ)

1968年東京都生まれ。経済評論家(兼公認会計士)。早稲田大学ファイナンス MBA、慶應義塾大学商学部卒業。当時最年少の19歳で会計士補の資格を取得した後、アーサー・アンダーセン(公認会計士)、マッキンゼー(戦略コンサルタント)、JP モルガン(ディーラー・証券アナリスト)を経て、経済評論家として独立、生活感覚と専門知識を共に持つのが特徴。男女共同参画会議「仕事と生活の調和に関する専門調査会」専門委員。会計・ファイナンス及び少子化・ワークライフバランスなどに特に強く、海外メディアにもコメントが多い。2005年、ウォール・ストリート・ジャーナルから、「世界の最も注目すべき女性50人」に選ばれる。2006年、エイボン女性大賞を史上最年少で受賞。3女の母でワーキングマザー歴16年。著書に「お金は銀行に預けるな」(光文社)、「決算書の暗号を解け!」(ランダムハウス講談社)、「勝間式『利益の方程式』」(東洋経済新報社)、「無理なく続けられる年収10倍アップ勉強法」「勝間和代のインディペンデントな生き方実践ガイド」(以上、ディスカヴァー)、「効率が10倍アップする新・知的生産術」(ダイヤモンド社)などがある。一連のビジネス書は「勝間本」と呼ばれ、2007年度1年間の累計売上高が100万部を突破して「勝間本ブーム」といわれている。

大好きな本を通して
教育環境を整える
お手伝いをしていきたいです

1. ごあいさつ

私が両親にいちばん感謝しているのは、子供時代に「本とレコードを買うこと、そして、映画を観るためなら、お金を出してやる」と言われたことです（その代わり、モノはあまり買ってくれませんでした）。田舎に住んでいたため、感動する映画はそれほど観られませんでした。本は大好きだったので、図書館で借りたり、自分で買ったりして、小説やミステリー、心理学などなど、さまざまなジャンルの本を読むことができました。

けれど、世界を見渡すと本を読んだり、音楽を聴いたりするもっと前に、お腹も満たしたり、教育を受けたりするための環境から整えなくてはいけない地域がたくさんあります。人もたくさんいます。そのためには、先立つもの（＝資金）が必要です。

つつい忘れがちですが、美味しいものを食べて、好きな仕事ができることには感謝しなくてはならないと改めて思います。そして、それができるのもたくさんの方の協力があるからこそ。大好きな本を通して、微力ながらそうした環境づくりのお手伝いできることはとても喜ばしいことです。

「自分のため」だけでなく、「人のため」にお金を手放すことで、少しだけお金の執着から解放される気もしますし、お金を投じることで人が育っていくという点では投資と少し似ている気もします。個人では難しいこうした活動を「Chabo!」を通して広げていけるといいな、と思っています。そして、「Chabo!」が継続していくためにも、真摯に執筆にあたらないといけないと考えています。

2. 具体的な活動について

『投資信託にだまされるな！ 本当に正しい投信の使い方』（07年4月、ダイヤモンド社）、『投資信託にだまされるな！ Q&A 投信の疑問・解決編』（07年12月、ダイヤモンド社）の08年6月の売上分より著者印税の20%をChabo!基金に寄付いたします。

今後の発行予定の新刊を含め、今後の著者印税の20%を寄付する予定です。

竹川 美奈子（たけかわ・みなこ）

ファイナンシャル・ジャーナリスト。群馬県生まれ、埼玉県育ち。明治大学政治経済学部政治学科卒。日経事業出版社（現・日経HR）や日本経済新聞社編集局などを経て独立。1999年ファイナンシャル・プランナー資格を取得。書籍やマネー関連の雑誌、新聞などで幅広く取材・執筆活動を展開する一方、投資信託や確定拠出年金セミナーの講師などを務める。個人投資家・消費者の立場から金融商品・サービスの研究・分析を行うとともに、自らも投信積み立てや401Kなどを実践中。07年4月に発売した『投資信託にだまされるな！ 本当に正しい投信の使い方』（ダイヤモンド社）は個人投資家の目線で、わかりにくい投信のしくみを解説し、20万部を突破した。07年12月には、続編『投資信託にだまされるな！ Q&A 投信の疑問・解決編』（ダイヤモンド社）を発売している。